



新月伐採木材体感会 職人技発表会のご案内

無垢の木と珪藻土で創った本郷の“月の家”

3月16日(土) ~ 17日(日)

午前9時~午後4時 (両日とも限定10組)

東京都文京区本郷2-4-2サンクタス本郷元町1201号室

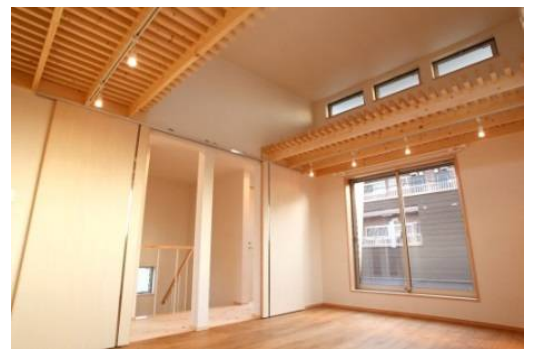
【セミナー開催】

水の味も変わる? 新月木材の力

「建材の違いを見て触って体感」

3月16日(土) 13時~14時

3月17日(日) 13時~14時



★ご来場頂きました方へプレゼント

私たちの想いを込めた小冊子「自然素材住宅を予算内で手に入れる方法」

DVD「新月伐採材を知る」

★図面をお持ち頂いた方へプレゼント

「木とつきあう知恵」エルヴィン・トーマ著

本物を知って頂きたいという想い

私たち駿河屋は、江戸時代から続く老舗材木屋でしたが、無垢の木などの自然素材のすばらしさと、住環境の大切さをもっと知って頂きたく、自然素材に特化した建設会社となって11年が経ちました。

この度、長い間求めてきた、本物の新月伐採、天然乾燥木材に静岡で巡り会うことが出来、「本郷の月の家」で採用させて頂きました。

私たちプロが見ても感動する素材を、是非皆様知って頂きたいという想いから、お施主様のご了解を頂き、「新月伐採木材体感会&職人技発表会」を開催させて頂きます。本当の意味で無垢の木を扱える大工が減った今、非常に貴重な機会となります。

なぜ新月伐採・天然乾燥の木材はここまで心地よいのか・・・。



私たちが「天然乾燥・新月伐採の木にこだわる理由」

2003年に「木とつきあう知恵」という本が翻訳され出版されました。これはオーストリアのチロル地方の営林職員の方が、1996年に出版し、大ベストセラーとなった本で、月が示す正しい時期の伐採をした木材は澱粉質が少なく、虫やカビが付きづらい他、様々な点で極めて良質の木材になるというものです。

あの法隆寺やヴァイオリンの名器「ストラディバリウス」も新月の木でつくられていると言います。

世の中の95%の木は機械で強制乾燥させた、いわば木のミイラです。数年の長い時間をかけ自然乾燥させて初めて、木本の木の香りや艶が保たれ、フィトンチッド(森林浴効果)も期待されるのです。



2年間かけてじっくりと自然乾燥

静岡県天竜産の新月伐採材の杉を、2年間かけてじっくりと自然乾燥させた、艶、香りともに最高の杉材を使用致しました。



職人たちの経験と腕の結晶「本郷の月の家」



大工・藤川

無垢の木は環境に馴染ませてから加工しないと駄目なところが多い。木との対話と思いやりが良い素材を生かすコツなんだ。それを知ってる職人は少ない。



左官・安藤

コテの扱い一つで温かみや緊張感を自在に表現するには10年かかった。オーナー様と吟味して決めた珪藻土の塗り壁は無垢の床と調和するように仕上げた。



経師・小西

ビニルクロスと違う本物の布を天井に貼った。化学糊ではなく澱粉糊で施工するには普通のクロス屋は嫌がる仕事。細部にまで気を配る最高の仕事を常に意識する。



塗装・平

植物油100%の荏胡麻を塗り込んだ無垢の床、刷毛の運びや拭き取るタイミングも腕の見せ所。新月材の艶をいっそう引き立てる最後の化粧と神経を集中させる。

【今回のリノベーションのポイント】

「お料理を楽しみながら、癒やされる空間を」というのがお客様のご要望でしたので、既存のキッチンを拡張しながら収納力をアップ。仕上げは天然素材100%の珪藻土を壁に、天井は布クロスを澱粉糊で施工しました。

また既存の床暖房は残し、無垢のフローリングにすることがご要望でしたので、床暖房に対応した徳島の伊予杉を使用。

寝室には新月伐採・天然乾燥をした、静岡県天竜の杉を使用しました。

駿河屋の「想い」



駿河屋は材木業の歴史の長い、新築・リフォームを仕事とする墨田区の建設会社です。

家はそこに住まう家族の人生すら左右してしまう大きな力をもっています。本物の住まいは確かな職人と、確かな素材が必要です。

私たち駿河屋は、そうした本来、物作りの基となるべきことを最も大切にしております。

新月伐採材体感会・職人技発表会 会場案内

【お願い】

お客様のご厚意により、お部屋を使用させて頂いております。
事前のお電話又はメールでのご予約が必要です。（当日予約可）

お客様のご自宅（ご入居前）の為、

実名及び住所、ご連絡先のご記入をお願い致します。

手袋を現地でお渡し致しますのでご着用願います。

3月16日(土)～3月17日(日)
午前9時～午後4時

物件名：サンクタス本郷元町1201号室

住所：東京都文京区本郷2-4-2

JR水道橋駅より徒歩10分
水道橋からですと坂を登ります。

都営大江戸線

本郷三丁目駅より徒歩9分



当日はマンション入口のオートロックよりお呼び下さるか、
こちらへお電話下さい ⇒ 090-1055-3196



駿河屋のおもてなしとしつらえて

住まう家族の想いを繋げます

光・風・木・土・石の声を聴き衣食住の未来を築きます

創業356年 株式会社 駿河屋

東京都墨田区向島1-22-14

TEL 0120-124-029 / FAX03-5637-1180

当日連絡先 090-1055-3196

URL: <http://www.surugaya-life.jp>

MAIL: info@surugaya-life.jp